

野生鳥獣の肉における放射性物質の測定結果について  
 (令和5年度第7報)

大崎市、丸森町、亘理町、山元町、大和町及び色麻町で採取されたイノシシの肉、白石市で採取されたツキノワグマ肉、女川町で採取されたニホンジカ肉について放射能物質の測定を行ったところ、国の基準値(100ベクレル/kg)を超えるものではありませんでした。

なお、イノシシ肉及びツキノワグマ肉については、平成24年6月25日付けで、県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており、現在も継続しておりますが、イノシシ肉については県の管理下において全頭検査を行い、放射性セシウムの検査結果が国の基準値を超えないものに限って出荷制限が一部解除されております。

また、ニホンジカ肉については、平成29年12月13日付けで県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており、現在も継続していますが、県の管理下において全頭検査を行い、放射性セシウムの検査結果が国の基準値を超えないものに限って出荷制限が一部解除されております。

1 測定結果

(単位:ベクレル/kg)

鳥獣名	捕獲場所 (鳥獣保護区等位置図 表記地区)	放射性セシウム		捕獲 年月日	測定日
		測定値	食品衛生法の 規定に基づく 放射性物質の 基準値		
イノシシ	大崎市 真山	21.8	100	R5.10.18	R5.10.23
	大崎市 真山	9.3			
	丸森町 小斎郷ノ目	10.7			
	亘理町 愛宕前	22.3			
	山元町 大平	15.9			
	大和町 吉田字山下	不検出			
	色麻町 小栗山	10.2			
	色麻町 平沢	28.1			
ツキノワグマ	白石市 福岡不忘	58.0		R5.10.17	
ニホンジカ	女川町 針浜	不検出		R5.10.15	

※ 次のURLから、野生鳥獣肉に係るこれまでの検査結果が確認できます。

<https://www.r-info-miyagi.jp/r-info/archive/> (みやぎ原子力情報ステーション)

- 2 測定年月日 令和5年10月23日
- 3 検査機関及び検査機器 株式会社 理研分析センター  
ゲルマニウム半導体検出器
- 4 検出下限値 7.05 ~ 9.98 ベクレル/kg

(参考)

- (1) 不検出  
放射性物質の濃度が、検出下限値に満たないことを指します。
- (2) 検出下限値  
当該測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を示し、測定ごとに異なります。

なお、測定値及び検出下限値は、セシウム 134 及びセシウム 137 それぞれの値を合算した値であり、測定の結果によりセシウム 134 又はセシウム 137 のどちらかが不検出の場合などでは、測定値が検出下限値を下回る場合があります。